

活動報告

日本を建て直す、

まずは故郷大宮から

中国上海から帰国し、脱サラして地方議員となり、早や17年半が経ちます。昨春に再選し、県土都市整備委員会委員長をはじめ、自然再生・循環社会対策特別委員会副委員長、予算委員会委員、2020オリンピック・パラリンピック・ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会委員などとして活動しています。

大宮のまちづくり

県議と市議の両方を経験した立場から、大宮駅の利便性向上（J・Rと東武線の乗換え向上）、駅前の強引な客引きの取締り、県立大宮公園の活性化、市立益哉美術館の拡張（県立自治人材開発センターの敷地活用）、上尾道路の早期完成と首都高速の圏央道への延伸、および芝川・鴨川の河川整備などに取り組んでいます。

大宮区内の県施設再編

「自動車税事務所」が市役所下町庁舎の跡地へ引っ越しを終え、本年1月からスタート。また「大宮警察署」が北袋へ移転すべく、5回目の入札を経てようやく落札。来年10月に開署予定です（現有地の利用策も検討を始めます）。

埼玉県の

ルールづくり（政策条例）

障害者の差別・虐待をゼロにすべく、国に先駆けて市議時代に条例を制定した経験があり、今度は県全域をカバーする「障害者差別防止条例」の制定に取り組み、本年3月に成立予定です。

国政の課題へ具体的に対処

少子高齢化やTPP大筋合意などに対して、埼玉県の「まち・ひと・しごと総合戦略」や「地域医療構想」（在宅医療の推進体制など）を議論しています。また、農地の集約化、高校教育の充実、医師確保策などに奔走しています。

いつも身近な存在で、

なんでも解決すべく

一所懸命

今年一年は、なにか一人前や一人前になれるように世の中になるようお手伝いしたいと思います。子供や働く女性、お年寄りなどの声に耳を傾け、身近な問題や歴史的な課題に対して真摯に取り組みたいと思います。つきまわしてはご協力の程をよろしく願い申し上げます。

平成28年1月



九日の朝、水川参道の「三拾い」が今年の仕事始め

48歳 春

沢田カ